

芸術文化選奨

受賞年度：平成22年度
 受賞区分：文化賞（個人）

| | | | |
|-----------|-------------------|-----------|--|
| 氏名又は団体名 | しみず よしのり 清水 良典 | | |
| 代表者(団体のみ) | | 設立年(団体のみ) | |
| 住所 | 名古屋市千種区 | 会員数(団体のみ) | |
| ホームページ | | | |

| 受賞時の業績概要 |
|---|
| <p>分野： 文芸評論</p> <p>昭和61年に群像新人文芸賞評論部門を受賞。以来、多くの雑誌や新聞で文芸評論を展開している。谷崎潤一郎や笹野頼子を論じた著書のほか、近年は村上春樹に関する評論も出版した。地元の文学活動にも深い理解を示し、新聞（地方版）での「東海の文芸」や「週間読書かいわい」を連載中である。愛知県立高等学校教諭時代より「文章表現」の指導に熱心で、同僚との共著「高校生のための文章読本」などは今でも若い人の指南書となっている。また、愛知淑徳大学にて教鞭をとり、後進の指導・育成に尽力するなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。</p> |

| 経歴・業績・近年の活動内容 |
|--|
| <p>【略歴】</p> <p>昭和29年1月 奈良県磯城郡に生まれる 昭和51年3月 立命館大学文学部卒業 昭和61年3月 「高校生のための文章読本」（筑摩書房）出版 昭和61年6月 第29回群像新人文芸賞評論部門受賞「記述の国家 谷崎潤一郎原論」 平成6年2月 名古屋市芸術奨励賞受賞 平成7年4月～現在 愛知淑徳短期大学専任講師を経て、現在、愛知淑徳大学教授 平成18年10月 「村上春樹はくせになる」（朝日新書）出版 平成24年5月 第65回中日文化賞受賞</p> <p>【近年の活動内容】</p> <p>「MURAKAMI龍と春樹の時代」（幻冬舎新書）出版（平成20年） 「文学の未来」（風媒社）出版（平成20年） 「あらゆる小説は模倣である。」（幻冬舎新書）出版（平成24年） 「書きたいのに書けない人のための文章教室」（講談社）出版（平成27年） 「デビュー小説論」（講談社）出版（平成28年）</p> |



文学トークショー「文学新人賞がこんなにわかっていいかしら」2009年